

～院長コラム～

「腹診をする」

漢方の診察法に「腹診」があります。

西洋医学的な腹診と基本的には変わりませんが、漢方の立場で一緒に所見を取ってしまいます。

患者さんが「西洋薬で」と言われれば、西洋薬をお出しし、

「漢方薬で」と言われれば、漢方薬をお出しします。

「両方で」と言われれば、両者を併せて処方します。

漢方では、「頭が痛い」とか、「ストレスで気分が沈んでいる」と言われても、おなかを触ります。

おなかの調子が悪いわけではないのに。ココが面白いです。

腹診所見から考えられる処方（方剤）を飲んでもらうと、

「頭が痛い」、「気分が沈んでいる」という状態が治ったりします。

症状に気を取られず、本人さんの現在の状態を汲み取っていくと、症状が軽快することがあるのです。

ですから、最初は診察室で全員に腹診をして、処方に困ったら、腹診から得た情報に基づいて漢方薬を試してもらうのです。

あとは数をこなす、経験を積むことです。

私もまだまだ発展途上です。

「こども健康ネットブログ」より



こども健康ネット
ブログ
QRコード



なかしまこども
クリニック
公式LINE



FUKUSUKE
チャンネル
YouTube

なかしまこどもクリニック



通信

2025年8月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

